

若年性認知症をともに受けとめていく私たち

若年性認知症が、社会的課題として考えられるようになり、「認知症」は、高齢者だけに起こることではない」という意味での啓蒙活動が当事者及びその家族、行政、各種関係機関を中心に行われ、広く県民が知ることとなってきている。

ただその一方で、「知る」という段階で停滞し、そのことを私たちがどう受けとめていくのか、どう考え向き合っていくのか、ということについては、まだまだ途上にあると考えている。

そこで、今年度の研修では、社会的課題となった若年性認知症を社会全体として受け止めていくために、私たちがどのように取り組むべきかを参加者と共に考えていく。

令和5年 11月20日 月

10:00～16:00

参加費：無料

会場：千葉県経営者会館 研修室

(〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3)



プログラム

10:00～11:30

第1部 グループワーク「若年性認知症当事者への支援の実際」

定員：15名程度

参加対象：介護事業者、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等職員で、現在若年性認知症の方への介護・支援等を実施している方

【講師・ファシリテーター】

宮崎 淳子（八街市南部地域包括支援センター 所長） 伊藤 英樹（井戸端介護 理事長）

安西 順子（ひぐらしのいえ 代表） 筒井 慈子（社会福祉法人秋桜会 介護事業代表）

13:00～14:15

第2部 当事者発表「若年性認知症当事者からの思いを受け止める」

定員：80名程度

参加対象：介護事業者、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、高齢者福祉担当自治体等、職員、当事者とその家族

内 容：①千葉県における若年性認知症の状況と支援施策について **話し手** 藤田 睦美（千葉県若年性認知症コーディネーター）
②若年性認知症当事者から伝えたいこと **語り手** 若年性認知症当事者と家族
聞き手 藤田 睦美（千葉県若年性認知症コーディネーター）

14:30～16:00

第3部 シンポジウム「私たちが若年性認知症を受けとめていくために」

定員：80名程度

参加対象：介護事業者、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、高齢者福祉担当自治体等職員、当事者とその家族

シンポジスト 若年性認知症当事者、若年性認知症当事者家族、藤田 睦美（千葉県若年性認知症コーディネーター）、
細井 尚人（袖ヶ浦さつき台病院認知症疾患医療センター長、袖ヶ浦さつき台病院 認知症専門医）

ファシリテーター 伊藤 英樹（井戸端介護 理事長）

申込方法

下記URLまたは右記QRコードを読み取り、応募フォームからお申込みください。

<https://forms.gle/rDRFuugEc3TMj7zJ9>（申込み締め切り：11月10日 金）

